

地域公共交通会議からのお知らせ ★★★

（仮称）公共交通応援隊募集！！

地域公共交通会議では、（仮称）公共交通応援隊を結成し、みんなが笑顔になる地域公共交通の活性化に向けた取組やアイデアを考え、実現を目指す取組を始めます。

EVENT!

KNOWLEDGE

★こんな人に来てほしい★

- ・公共交通に興味のある方（一番大事）
- ・様々な分野の活動で活躍されている方
- ・楽しいイベントを企画するのが大好きな方
- ・公共交通についてマニアックな知識のある方

★今後の取組★

まずはみんなのアイデアを集めるためのミーティングを開催予定です。

応募人員

多数募集!!

人数の制限はありません

★応募方法★

応募用紙に必要事項記入の上、長久手市地域公共交通会議事務局 市役所経営管理課 ☎0561-56-0600に提出してください。
応募用紙は、市役所経営管理課窓口やホームページ等でダウンロードできます。

「のりゃあせ」作ってみませんか？

「のりゃあせ」は、地域公共交通会議が発行する情報誌で、リニモ、名鉄バス、N-バスなどの地域公共交通に関する活性化の取組紹介やお知らせ、おすすめ情報などを市民の方と協力しながら紙面を作成し、発行しています。現在、「のりゃあせ」の作成に協力していただける、市民を募集していますので、興味のある方は、長久手市地域公共交通会議事務局（市役所経営管理課・電話0561-56-0600）まで、ご連絡ください。

お問い合わせ

長久手市地域公共交通会議事務局 長久手市行政経営部経営管理課

〒480-1196 長久手市岩作城内60番地1 TEL 56-0600（直通）FAX 63-2100

URL <http://www.city.nagakute.lg.jp/>

THE NORRYAASE #5

「みんなで育む公共交通」の実現に向けて

この「のりゃあせ第5号」は、市民の皆様の協力で作成されています。

デザイン@SAITO
第4号より参加。
主にデザインを担当



長久手市では、リニモをはじめ、路線バス（名鉄バス）やN-バスが人々の移動を支えています。長久手市地域公共交通会議では、今後もこれらの公共交通を確保・維持し、利便性を向上していくため、市民のみなさんや交通事業者、行政が一体となって公共交通を「育てていく」ことを目指して、様々な取組を進めています。公共交通かわら版「のりゃあせ」もこうした取組の一環として、市民の方と協力しながら作成し、市内公共交通に関する様々な情報をお届けしています。第5号では、「みんなで育む公共交通」をテーマに、新たに始めた市民協働の取組について紹介します。

教えて！みんなで育む公共交通

長久手市在住のA君は、リニモやN-バスをよく使います。たまたま耳にした「みんなで育む公共交通」の言葉が印象に残ったのでM先生に聞いてみることにしました。

これからの人口減少、高齢化社会においては、公共交通の運行は事業者や行政の力だけでは支えきれなくなります。そのため、市民のみなさんの協力が必要になります。でも、いきなり「支えよう」といわれても負担感でよね。なので「支える」のではなく、「育む」のです。一人ではありません。市民・行政・事業者や市民と市民が交流を深めながら、みんなで長久手市の公共交通を育てていきましょう。

先生、この前たまたま市内で公共交通を「みんなで育む」って言葉を知りました。でもこれってどういうことなんだろう？

はい、先生。長久手市では、行政、専門家、事業者、市民で地域公共交通会議を組織し、バス路線の確保維持や公共交通の利便性向上を様々な取組を展開しています。今回、その取組みの一つである市民参加型の利用促進活動の展開として、「N-バスワークショップ」や「公共交通交流会」を開催しました。

松本先生

A君

A君

リニモやバスは普段利用しているけれど、あまり意識したことはありませんでした。でも「育む」ためにはどうすればいいんだろう？

3つの感を生むことが大切。楽しみ感・お得感・達成感です。乗って出かける楽しみ、乗るとことでお得、まちへの貢献が出来るような取組をみんなで考え、始めるのです。長久手市では、市民のみなさんと協力する取組を始めたのですよ。取組については市役所の方に教えてもらいましょう。

市役所 経営管理課 (門前氏)